

# リモートCisco ICM ターミナルでのユーティリティを実行するためのTelnet の使用

## 内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[リモート ICM システムへの接続](#)

[関連情報](#)

## 概要

このドキュメントでは、TCP/IP プロトコル スタックの標準のターミナル エミュレーション プロトコルである Telnet への接続および接続解除方法について説明します。Telnet は、Cisco Intelligent Contact Management ( ICM ) をインストールするとコンピュータにロードされます。Telnet を使用してリモート ICM ターミナルに接続し、dumplog、OPCTest、および rttest などのユーティリティを実行できます。また、Telnet を使用して ICM サービスの開始と停止、および ICM ログ ファイルの確認ができます。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する専門知識があることが推奨されます。

- Telnet

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの内容は、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 ( デフォルト ) 設定の状態から起動しています。対象のネットワークが稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

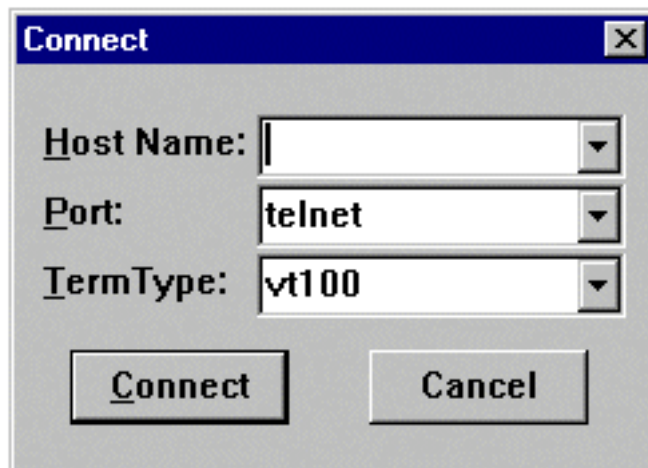
### 表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

## リモート ICM システムへの接続

Telnet にアクセスするには、次の手順を実行します。

1. Telnet を次のいずれかの方法で開始します。[Start] > [Run] を選択し、[Telnet] と入力します。  
。 [Start] > [Programs] > [Accessories] を選択し、[Telnet] をクリックします。
2. [Telnet] で [Connect] > [Remote System] を選択します。この [Connect] ダイアログボックス



に、次のように表示されます。

3. [Host Name] フィールドに、接続先となるリモートシステムの名前または IP アドレスを入力します。たとえば geociscortra または 179.x.x.x などです。
4. [Port] フィールドで [Telnet] を選択します。
5. [TermType] フィールドで [vt100] を選択します。
6. [Connect] をクリックします。
7. 接続が確立されると、Telnet ウィンドウのタイトルバーに、接続先システムのホスト名または IP アドレスが表示されます。
8. 有効なアカウント名とパスワードを使ってログインします。通常、これはお客様のユーザ名です。正しいアカウント名については、Cisco ICM ハンドオフ ドキュメントを参照してください。
9. 高度な機能を使用するかどうか尋ねられたら、n (いいえ) を入力します。
10. リモートシステムの使用を終了するときには、exit と入力して Telnet を終了します。

## 関連情報

- [Dumplog ユーティリティの使用方法](#)
- [OPCTest のコマンドライン ユーティリティの使用](#)
- [Cisco ICM rttest ユーティリティ](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)